

ID ^{注1)}	251202	公開レベル ^{注1)}		保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	241202
-------------------	--------	----------------------	--	---------------------	--	---------------------	--	------	--------

報告書名称 / 調査名称	令和6年度 白神山地周辺地域における中・大型哺乳類調査（青森県側）						発行年月/報告年月	
							2025年	3月
							資料形式 ^{注2)}	報告書
調査機関	東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター			委託機関	株式会社 応用生物			
調査開始年	2013年	9月	調査期間	2023年	11月	～	2024年	11月
調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	春	夏	秋	冬	
モニタリング計画	2022年7月	改訂	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(1) (3)
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法				
☐ 核心地域 ☐ 緩衝地域 ☒ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり				<p>■目的 白神山地世界遺産地域モニタリング計画の重点調査項目として挙げられている中・大型哺乳類の生息状況を把握するため、白神山地周辺地域において赤外線センサーカメラによる調査を実施した。また、環境省や青森県、秋田県と連携し、近年白神山地周辺で目撃例が相次いでいるニホンジカ、イノシシやハクビシン等の分布拡大の状況把握にも努めた。</p> <p>■調査地 冬期間（昨年度報告と同時期） ・深浦町10箇所、西目屋村1箇所 業務期間（昨年度報告と同時期） ・深浦町20箇所、鰺ヶ沢町5箇所、弘前市1箇所、西目屋村9箇所 以上、白神山地周辺地域の青森県側に、各箇所1台ずつ合計35台設置した（図1）。</p> <p>■調査期間 冬期間：令和5年11月23日～令和6年4月22日 業務期間：令和6年4月22日～11月14日</p> <p>■調査方法 使用機器：TREL10J、10J-D、18J-D（株）GI Supply 調査設定：画素数500万画素、連続撮影3枚、センサー感度「中」、インターバルなし（0秒）</p> <p>■集計方法 種名や個体数等の判別を行い、調査地点別・月別・時間別に集計した。撮影された画像については、過年度と比較できるよう、模擬的に30分インターバルを再現してデータを選別し、解析した。</p>				
				<p>※調査地点は備考欄参照</p>				
結果概要（スペースに収まるように入力してください）								
<p>■冬期間 動物の撮影個体数は、全地点で合計450個体、そのうち哺乳類は448個体であった（表1）。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類12種、鳥類1種であった。最も撮影個体数が多かった種はキツネの123個体で、次いでアナグマの67個体、タヌキ61個体、ニホンイタチ57個体、カモシカ56個体であった。ニホンジカは、11月から1月、4月に4箇所合計16個体が撮影された。イノシシは、12月、1月、3月、4月に5箇所合計12個体が撮影された。外来種の撮影はなかった。</p> <p>■業務期間 動物の撮影個体数は、全地点で合計1,760個体、そのうち哺乳類は1,719個体であった（表2）。最も撮影個体数が多かった種はタヌキの583個体で、次いでカモシカ216個体、キツネ204個体、アナグマ109個体であった。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類14種、鳥類8種であった。ニホンジカは23箇所から合計89個体が撮影された。性別はほとんどがオスであったが、メスも1個体撮影された。イノシシは、16箇所から合計47個体が撮影された。外来種はハクビシンが14箇所から合計60個体された。なお、インターバルなしではニホンジカは23箇所、イノシシは17箇所、ハクビシンは15箇所撮影された。</p> <p>業務期間のニホンジカ、イノシシ、ハクビシンの撮影位置を図1～図3に示す。 平成27年度から令和6年度調査までの業務期間に撮影された哺乳類の補正個体数の推移を図4に示す。</p>								
								
<p>ニホンジカ（調査地点15：7月4日）イノシシ（調査地点4：8月2日）ハクビシン（調査地点15：9月9日）</p>								
問い合わせ	<p>東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿倍野70-82 TEL：0173-72-2931 FAX：0173-72-2932</p>							
<p>《原本（データ）の帰属について》</p>								

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備 考

表1 センサーカメラによる各調査地点の確認種・個体数(冬期間)¹⁾

分類	種名	no.1	no.4	no.5	no.6	no.7	no.9	no.12	no.14	no.32	no.33	no.35	合計
哺乳類	キツネ <i>Vulpes vulpes</i>	1		14	4	5	25	32	5	29	5	3	123
	タヌキ <i>Nyctereutes procyonoides</i>	10	1	3	5	5	2	9	9	8	5	4	61
	ツキノワグマ <i>Ursus thibetanus</i>			6					1				7
	テン <i>Martes melampus</i>					1			1	1			3
	アナグマ <i>Meles anakuma</i>				2	6	3	5	8	14	26	3	67
	ニホンイタチ <i>Mustela itatsi</i>			10	1	8	2	24	3	9			57
	イヌコ <i>Felis catus</i>								1				1
	イノシ <i>Sus scrofa</i>	1				3	1			5	2		12
	ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>		1						3	7	5		16
	カモシ <i>Capricornis crispus</i>	7		7	12	2	3	9	1	11	4		56
	ニホンリス <i>Sciurus lis</i>							1	1				2
	ニホンウサギ <i>Lepus brachyurus</i>					1	3			4			8
	不明ネズミ類									2			2
	不明哺乳類			1		3	1	5	6	9	4	4	33
鳥類	ヤマドリ <i>Syrnaticus soemmerringii scintillans</i>									1			1
	不明鳥類									1			1
全個体数合計		19	2	41	24	34	40	85	39	101	51	14	450
全種数合計 ²⁾		4	2	5	5	8	7	6	10	10	6	3	13

1) 連写の場合は、一連の撮影で写った最大個体数 2) 不明種は種数に含めていない

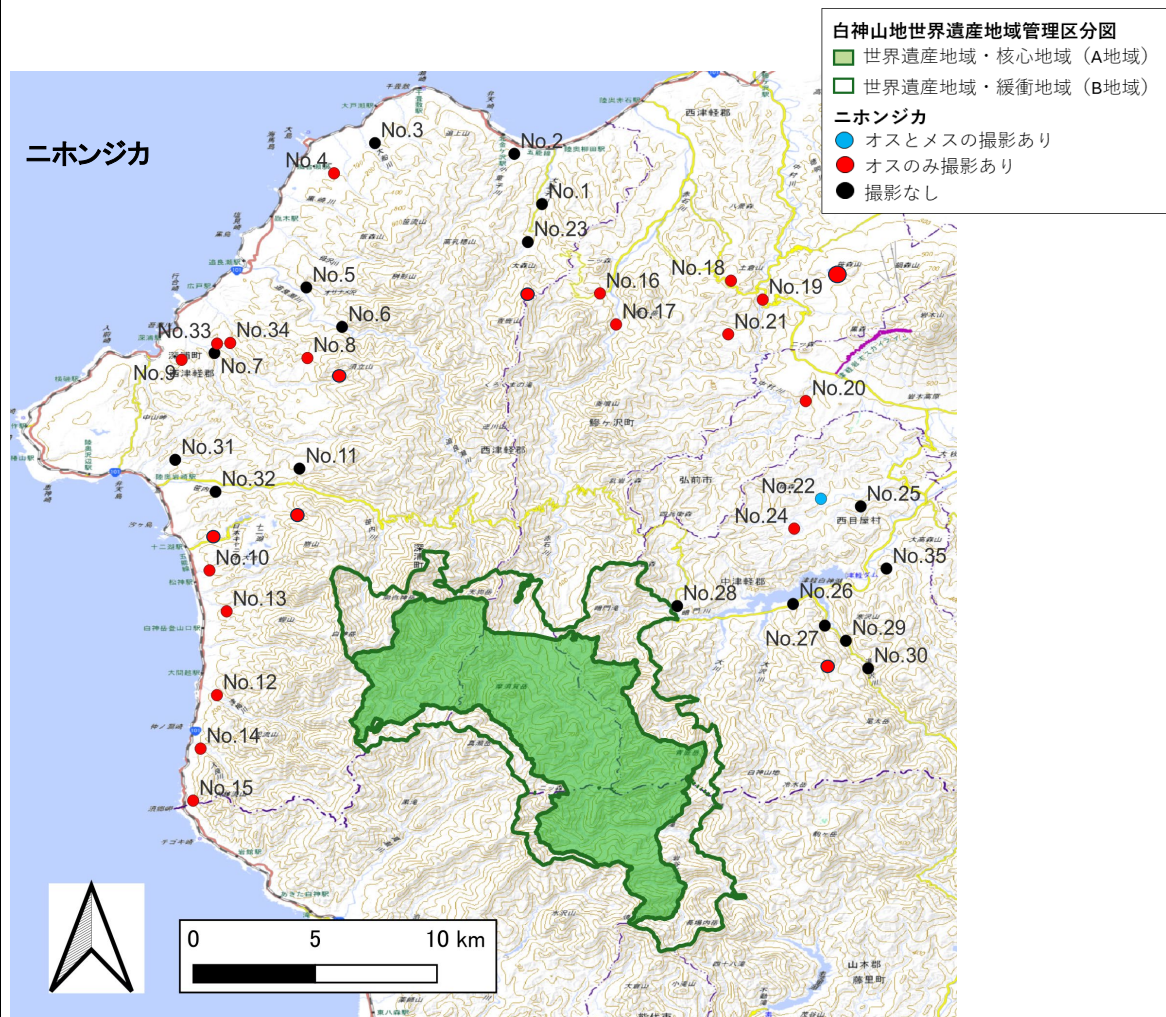


図1 令和6年度 センサーカメラ設置箇所とニホンジカの撮影位置(業務期間)

備考

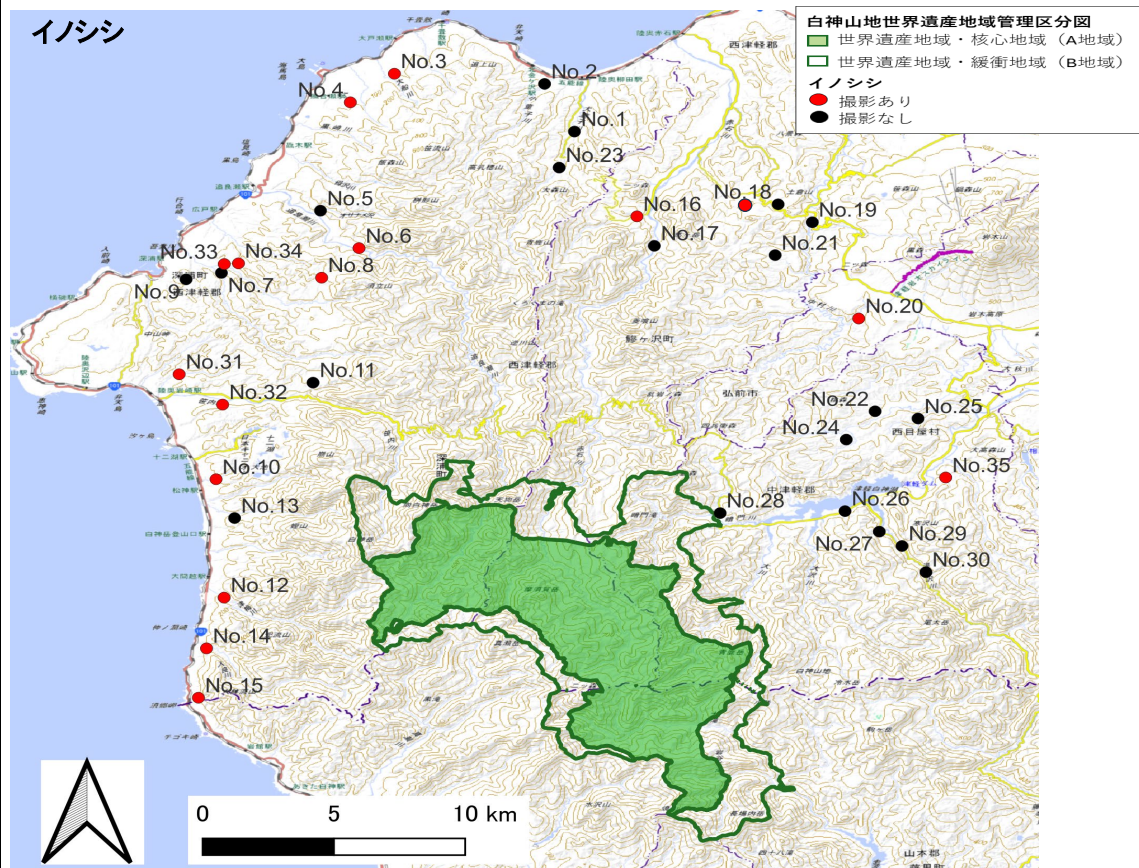


図2 令和6年度 センサーカメラ設置箇所とイノシシの撮影位置 (業務期間)

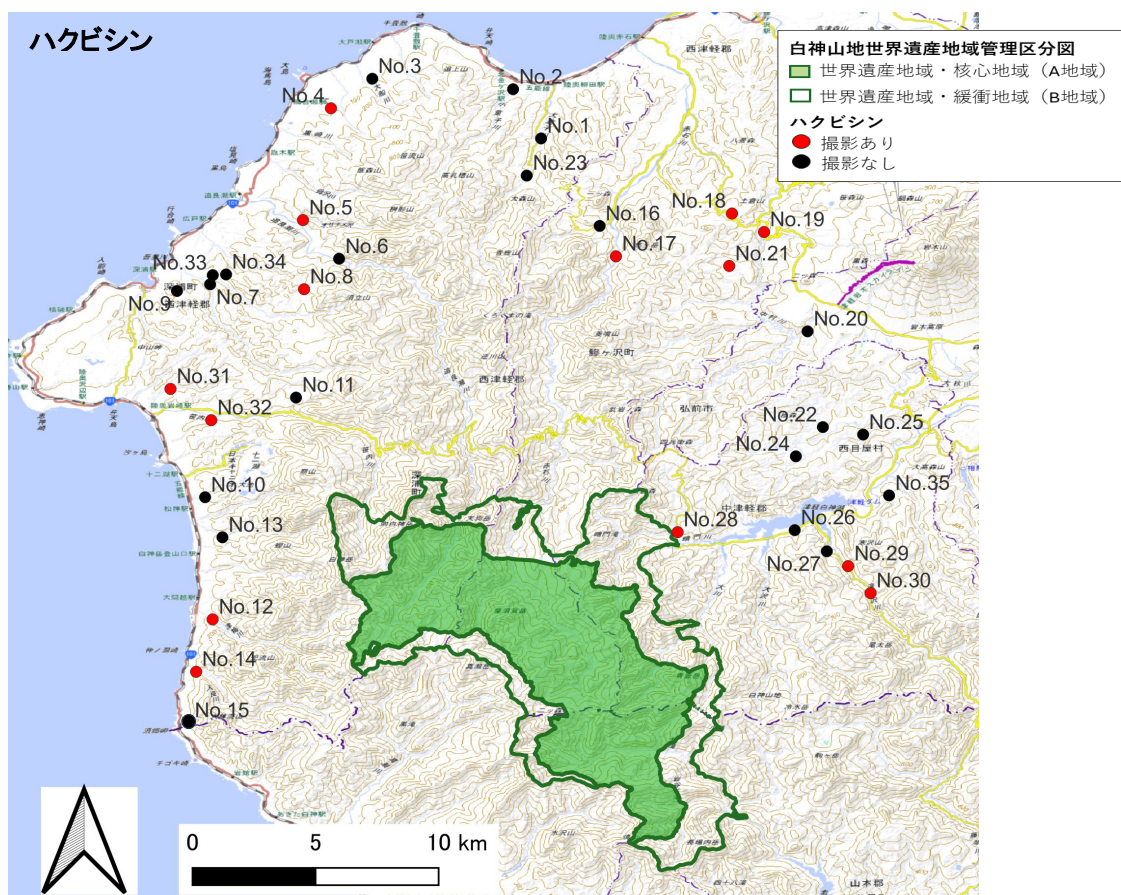


図3 令和6年度 センサーカメラ設置箇所とハクビシンの撮影位置 (業務期間)

備考

表2 センサーカメラによる各調査地点の確認種・個体数(業務期間) 1)

分類	種名	no.1	no.2	no.3	no.4	no.5	no.6	no.7	no.8	no.9	no.10	no.11	no.12	no.13	no.14	no.15	no.16	no.17	no.18	no.19	no.20	no.21	no.22	no.23	no.24	no.25	no.26	no.27	no.28	no.29	no.30	no.31	no.32	no.33	no.34	no.35	合計
哺乳類	ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>	2				1		5					13	3	3	5	8			4	20		2				3			3			3	10			82
	キタキツネ <i>Vulpes vulpes</i>		3		1	1	19	1	6		1	6		13	20	3	9	4	3	20			1							1	35	23	33	1			204
	オオクニヤマネ <i>Nyctereutes procyonoides</i>		11		14	11	26	4	43			107		3	29		47	21	34	29			1			8		3	5	12	34	133	8			583	
	ツキノイタチ <i>Ursus thibetanus</i>	3		3	2	8		2	4		1	3	5	3	4	3	4	4	2	1	1	10			3		1	1	4	8	2	3	3			81	
	ミナミツノ <i>Martes melampus</i>					3	2	1					1		1	1	1	3			2					1			1		1	22	1		39		
	ニホンイタチ <i>Mustela itatsi</i>														1	1																	1			3	
	アサギ <i>Meles anakuma</i>	1		4	5	1	16		2		2	1	1	3		37	5	1				1							3		15	14			109		
	ノボリ <i>Paguma larvata</i>			2	4			11					15	4			8	1	1	1			1					1	1	2	4	5			60		
	ニホンヤマネ <i>Felis tatus</i>												14		1																		2			17	
	ノボリ <i>Sus scrofa</i>		2	10		1	1	2		2	5		4		3	2	1		1	2												1	6	4	2	1	47
ニホンカモシラ <i>Cervus nippon</i>				4		1		2	1	5	2	3	2	5	5	1	2	1	2	1	4	3	2	1					1				20	18	3		89
オオカモシラ <i>Capreomys crispus</i>	24	6	1	3		2	1		31	3	18	3	5	1	6	8		3	36	4	1			3		5	2	20	7	18	4	1			216		
ニホンリス <i>Sciurus lis</i>			13	2	2							1							2							4						2			26		
ニホンノウサギ <i>Lepus brachyurus</i>	23		6		1		28		13		2			1	1	1	1	1							23		1	2	2			1	2	2		104	
不明ネズミ類																										1										1	
不明哺乳類		2	1	1	2	1	7		2	1	1			2		2	3	4	2	3	1				2		2			4	1	3	8	3		58	
鳥類	ヤマトトリ <i>Symaticus soemmringii scintillans</i>			1				1																			3						8			13	
	キハトリ <i>Streptopelia orientalis</i>							10						1	3	1	1			2										1	1				20		
	オオトリ <i>Dendrocyops leucotis</i>																																			1	
	オオトリ <i>Ardea intermedia</i>				1																															1	
	ノボリ <i>Spizaeus nipponensis</i>											1																								1	
	オオトリ <i>Garrulus glandarius japonicus</i>																															1				1	
	ノボリ <i>Zoothera aurea</i>																																2			2	
	ヒトリ <i>Hypsipetes amaurotis</i>	1																																		1	
	不明鳥類																	1																		1	
	個体数合計	5	65	12	59	41	52	17	131	1	60	9	191	6	45	67	16	130	49	49	82	54	10	4	6	0	49	1	10	18	65	105	273	66	9	3	1760
種数合計 ²⁾	2	6	3	11	10	7	7	11	1	7	3	13	3	12	10	6	11	10	7	9	5	4	3	2	0	8	1	4	5	8	9	18	8	3	3	22	

1) 連写の場合は、一連の撮影で写った最大個体数 2) 不明種は種数に含めていない

